

# 雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクト

---

令和6年7月18日

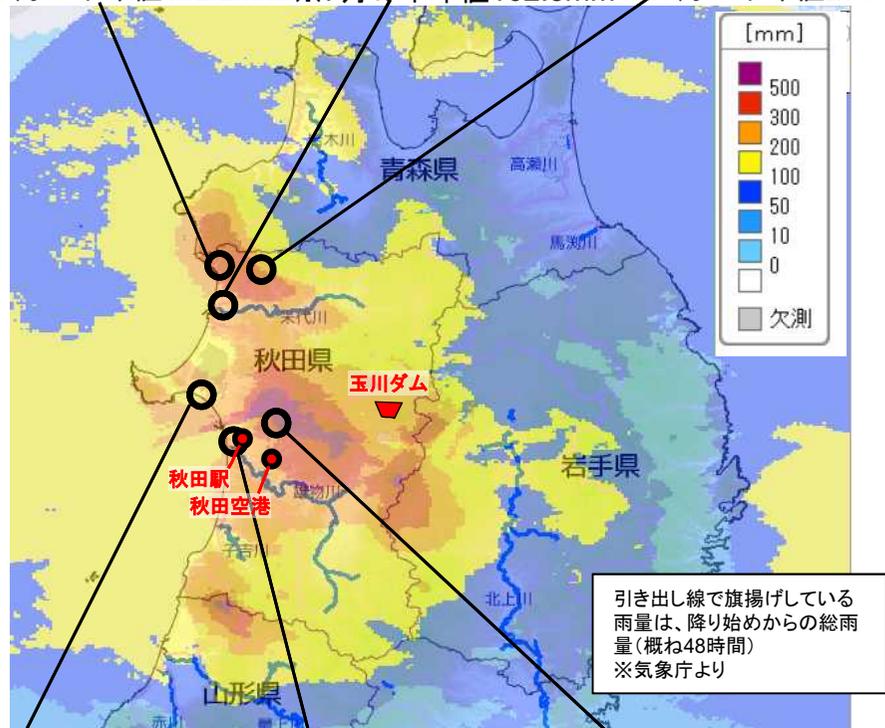
国土交通省 東北地方整備局

# 令和5年7月豪雨災害の概要

- 前線の影響により、秋田県を中心に記録的な大雨となり、**24時間雨量は多いところで300mmを超過**し、多くの雨量観測所で観測史上1位を記録したほか、7月の平年値も上回る降水量を記録。
- 管内の国管理河川においては、**氾濫危険水位超過が2水系3河川**(雄物川水系雄物川・玉川、子吉川水系石沢川)、**避難判断水位超過が2水系2河川**(子吉川水系子吉川、米代川水系米代川)、**氾濫注意水位超過が2水系2河川**(北上川水系北上川、最上川水系鮭川)を記録。
- また、**県管理河川においては、堤防決壊や橋梁の崩壊(損傷)、堤防越水、溢水等による浸水被害が発生。**

令和5年7月14日13時～7月16日13時までの48時間レーダー雨量(累積) ※統一河川情報システムより

はちもり 八森 249mm (観測史上1位) ※7月の平年値172.2mm  
 のしろ 能代 196mm (観測史上1位) ※7月の平年値162.5mm  
 ふじさと 藤里 333mm (観測史上1位) ※7月の平年値275.6mm

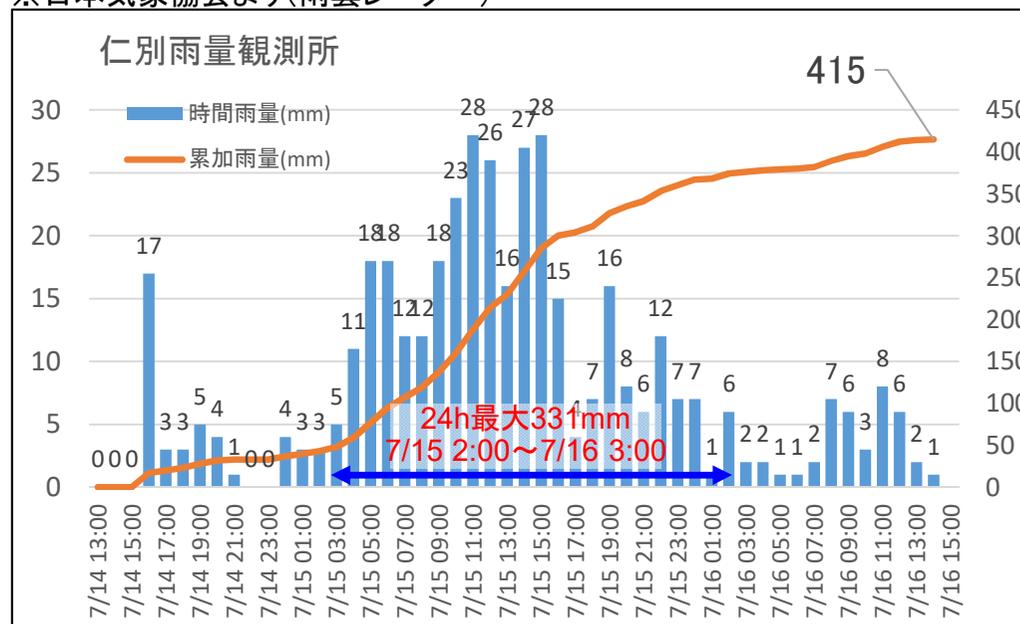


おが 男鹿 275mm (観測史上1位) ※7月の平年値176.2mm  
 あきた 秋田 252mm (観測史上1位) ※7月の平年値197mm  
 にべつ 仁別 415mm (観測史上1位) ※7月の平年値295.5mm

7/14～7/16にかけて継続して強い雨が降り続き、仁別雨量観測所では、24時間で331mmを記録。



※日本気象協会より(雨雲レーダー)



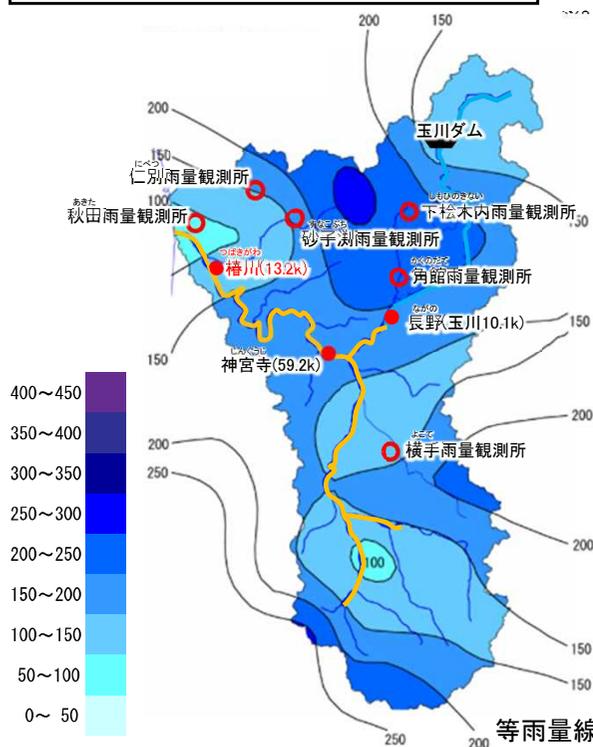
※7/14～7/16(降り始めからの総降水量)\_気象庁

# 令和5年7月豪雨災害の概要～既往洪水との比較～

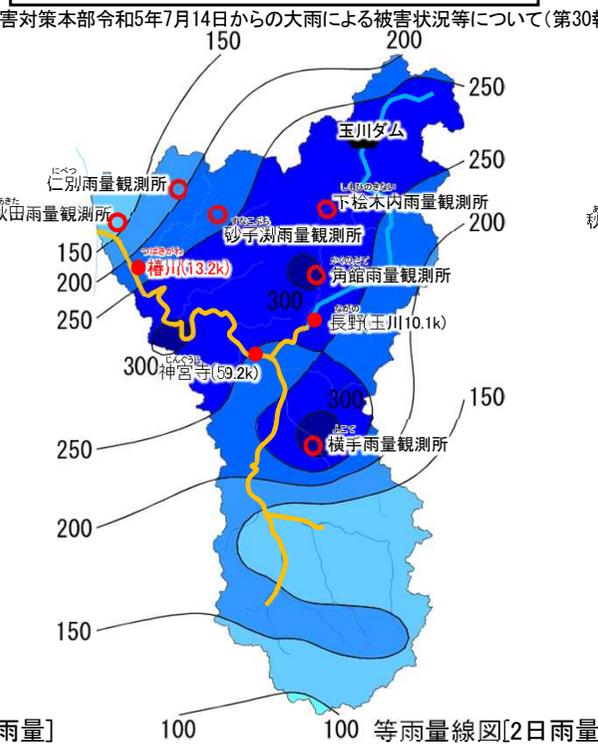
- 降雨特性: 近年発生した出水と令和5年7月出水の降雨を比較すると、砂子淵観測所では、総雨量で424mm、**降り始めからの降雨継続時間は48時間と長く、長時間にわたり降雨が降り続いた出水**となった。等雨量線図に示すとおり雄物川流域では、**雄物川本川の降雨量は少ない一方で、秋田市周辺を中心に降雨が集中したことから、太平川や岩見川などの県管理河川を中心に被害が発生**。
- 被害状況: 浸水被害(床上・床下浸水)は、平成29年7月出水の2,061戸に対し、**令和5年7月出水は7,958戸**※1(秋田市内在が最も多く7,850戸※1)。  
雄物川では、流域平均雨量や降雨分布が異なるものの、**河川整備の進捗と既設ダムの効果等により、浸水被害が軽減された**と推測。

		平成23年6月23日～出水	平成29年7月22日～出水	令和5年7月14日～出水
総雨量※ ※降り始めからの雨量		254mm(角館観測所[気象庁](仙北市)) 継続時間:73時間	315mm(横手観測所[気象庁](横手市)) 継続時間:21時間	424mm(砂子淵観測所[国交省](秋田市)) 継続時間:48時間
最多時間雨量		41mm/h(下松木内観測所[国交省](仙北市))	67mm/h(横手観測所[気象庁](横手市))	35mm/h(角館観測所[気象庁](仙北市))
樺川上流域平均2日雨量		168mm/2日	220mm/2日	178mm/2日
一般被害 (雄物川流域)	人的被害	—	—	—
	全壊・半壊	全壊:1戸	全壊:3戸、半壊:43戸	全壊:8戸 ※2
浸水被害 (雄物川流域)	床上浸水	120戸	590戸	4,620戸 ※2
	床下浸水	329戸	1,471戸	3,338戸 ※2

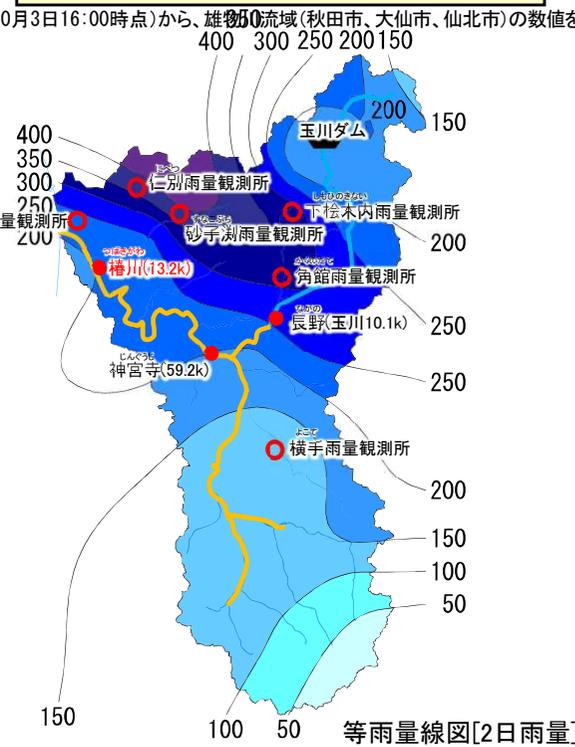
平成23年6月洪水



平成29年7月洪水

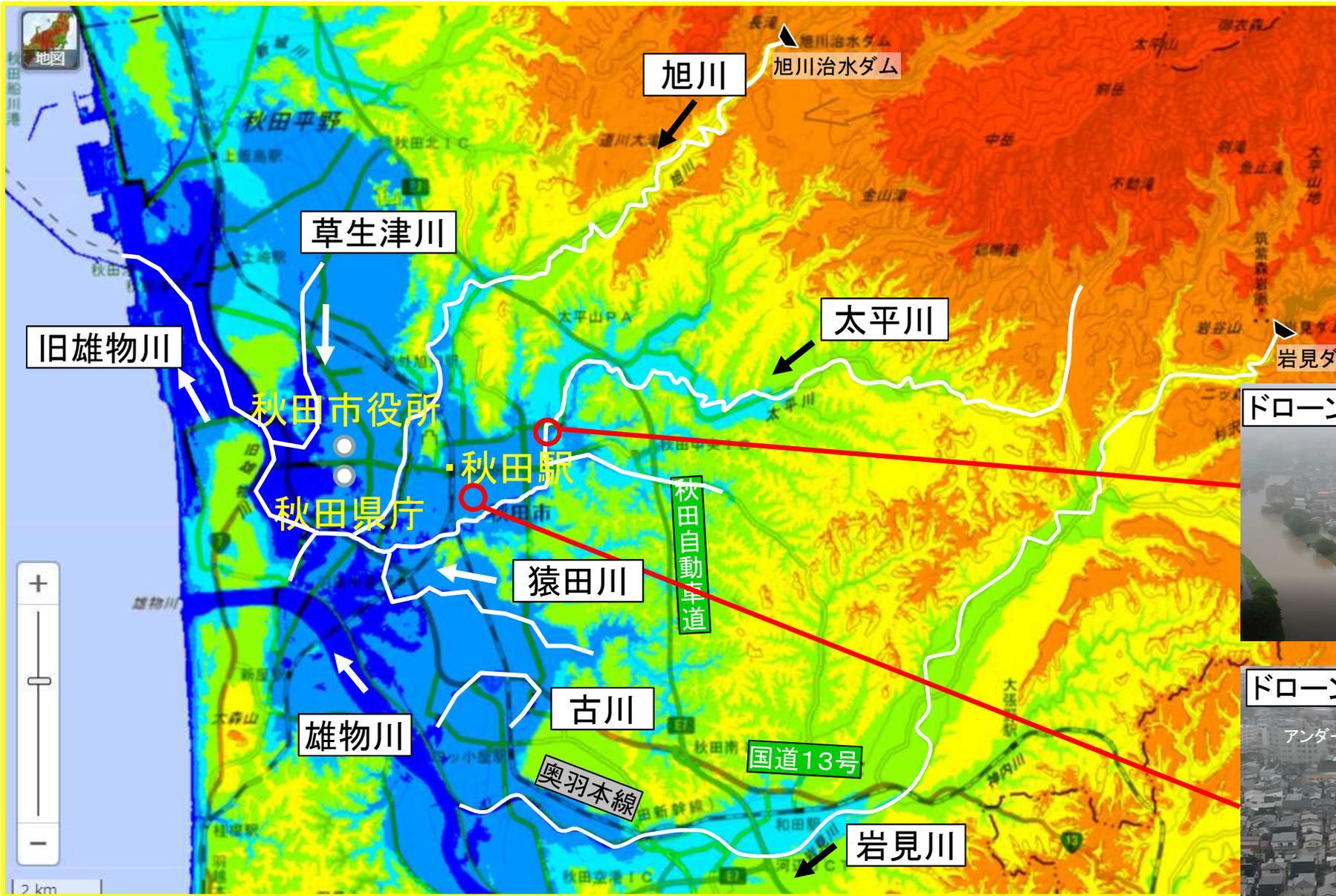
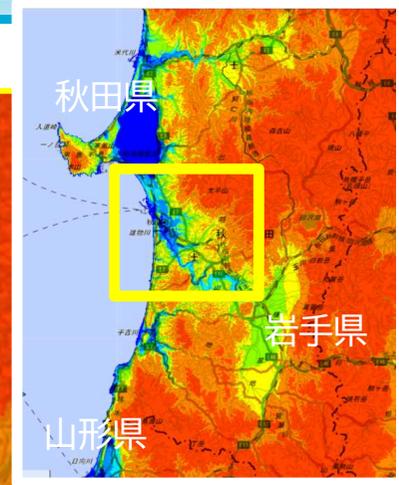


令和5年7月洪水



※1 秋田県災害対策本部令和5年7月14日からの大雨による被害状況等について(第30報)(10月3日16:00時点)から、雄物川流域(秋田市、大仙市、仙北市)の数値を集計。

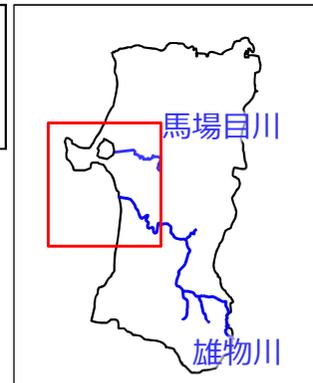
# 秋田市の地形状況



※国土地理院地図(色別標高図)

# 雄物川下流圏域分科会の立ち上げ

○早急な災害メカニズムの把握及び治水対策メニューの策定を図るため、被害が集中していた雄物川下流域・馬場目川水系の関係8市町村を中心とした「下流圏域分科会」を設立。



R2.9~

## 雄物川圏域流域治水協議会

令和元年東日本台風をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、雄物川水系及び馬場目川水系において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行う。

■参加自治体：圏域内15市町村

今次災害を受け8月8日に  
設立

R5.8~

## 下流圏域分科会

令和5年7梅雨前線による大雨をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、雄物川流域下流及び馬場目川水系において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的とする。

■参加自治体：下流圏域内8市町村

### 作業部会(協議会)

作業部会(雄物川水系)

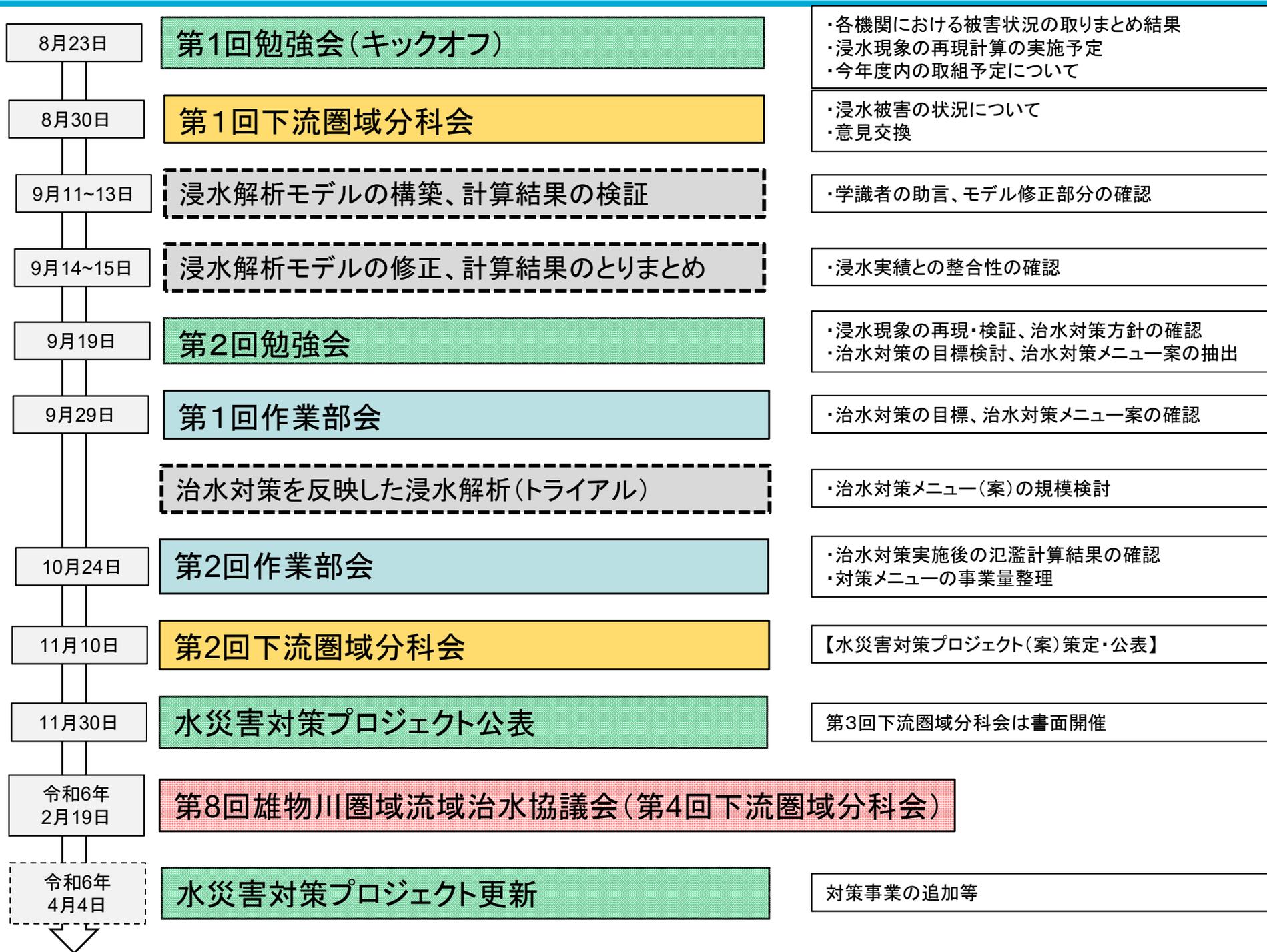
作業部会(馬場目川水系)

### 作業部会(分科会)

作業部会(雄物川下流域)

作業部会(馬場目川水系)

# 水災害対策プロジェクト策定・更新までの流れ



# 下流圏域分科会の開催

## 1. 概要

- 雄物川圏域流域治水協議会「**下流圏域分科会**」は、令和5年7月梅雨前線による大雨をはじめとした激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、下流圏域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するために設立しました(令和5年8月30日設立)。
- 第1回分科会では規約が了承され、また、**関係機関から出水概要と浸水被害状況について共有されたほか、各首長から流域治水の検討にあたってのご意見をいただき、流域の関係機関が一体となって進めるため、年内を目途に対策の方針をまとめることを確認**しました。

## 2. 開催日／実施状況

- 日時: 令和5年8月30日(水) ■場所: 秋田河川国道事務所 大会議室
- 出席者: 秋田市(市長)、男鹿市(防災監)、潟上市(危機管理監)、三種町(町長)、五城目町(町長)、八郎潟町(町長)、井川町(町長)、大潟村(村長)、農林水産省東北農政局西奥羽土地改良調査管理事務所(次長)、林野庁東北森林管理局秋田森林管理署(署長)、林野庁東北森林管理局米代西部森林管理署(署長)、気象庁秋田地方气象台(台長)、秋田県総務部(危機管理監)、秋田県農林水産部(次長)、秋田県建設部(部長)、国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所(所長)、【学識経験者】秋田大学名誉教授 松富 英夫

## 合計16の関係機関が参加



## 議事内容

- (1) 出水概要と国管理河川の状況について
- (2) 雄物川下流域における浸水被害の状況について
- (3) 馬場目川流域における浸水被害の状況について
- (4) 意見交換 [ 出席委員からご発言 ]



秋田市



三種町



五城目町



八郎潟町



井川町



大潟村



男鹿市



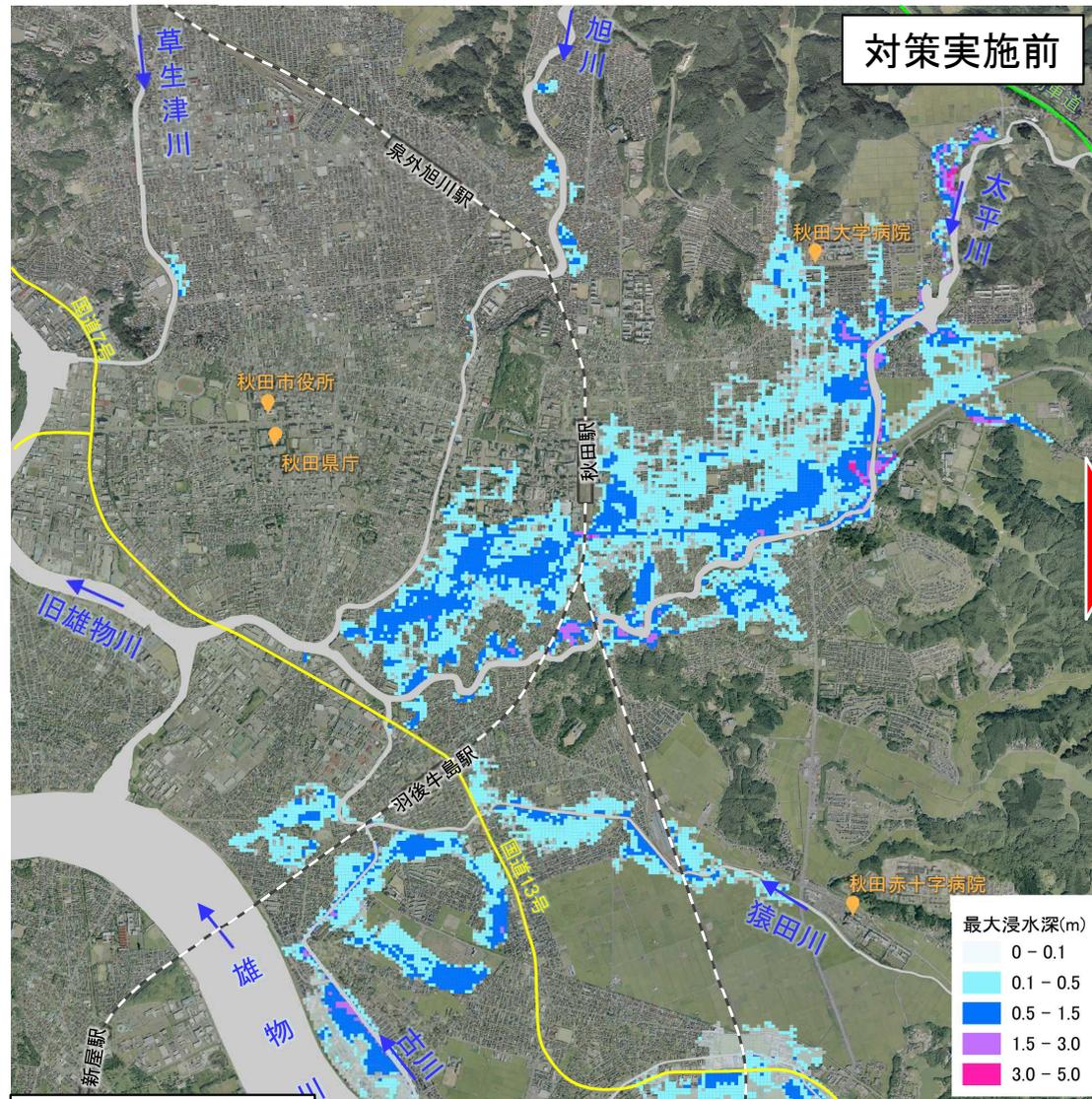
潟上市

## 3. 主な意見・コメント等

- ・ 分科会が設立されたことに**大いに期待**している。
- ・ 太平川、旭川の外水・内水氾濫も**適切に対応すれば、被害を最小限に抑える**ことができると考えている。
- ・ **馬場目川水系河川整備計画の策定はスピード感を持って進めてほしい。**
- ・ 馬場目川水系の**整備計画の策定に向けた対応**をしたい。(県)
- ・ 三種川河川改修並びに床上緊急対策は、**確実に事業効果が出ている**。家屋移転について、**地域意向を聞きながら対応する時期**にあると実感。
- ・ 八郎湖水位を事前に下げよう、**防潮水門を柔軟に運用**してほしい。浚渫が進まない箇所は、**伐採を優先**して進めてほしい。
- ・ 八郎湖の防潮水門は、今回は**事前放流**を行って水位を下げた。(県)
- ・ **元々危険な場所に住んでいる**という覚悟をもって準備しておく必要があることを、住民へ知らせることが重要。
- ・ **関係機関が協力**して流域治水を推進してほしい。

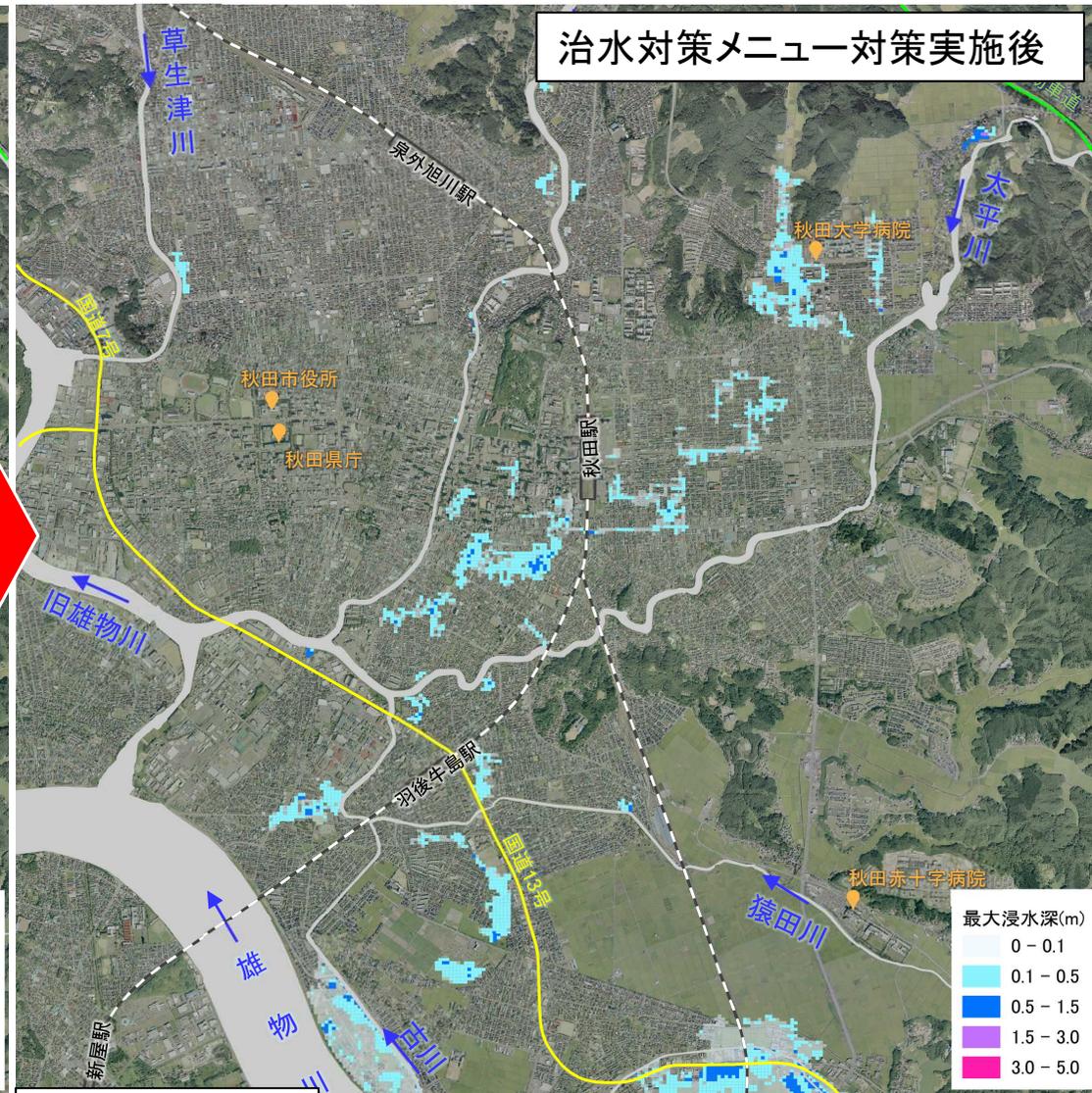
# 内外水一体型浸水解析シミュレーション

- 秋田市内を対象に、内外水一体型の浸水解析モデルを構築し、浸水現象と対策効果をシミュレーションした。
- 対策の実施により、秋田市全体の浸水面積・床下浸水戸数は約60%減少し、**床上浸水戸数は約98%減少**する。



地理院タイルにシミュレーションで求めた浸水深を追記

浸水現象の再現結果(対策実施前)



地理院タイルにシミュレーションで求めた浸水深を追記

治水対策メニュー実施後の効果解析結果

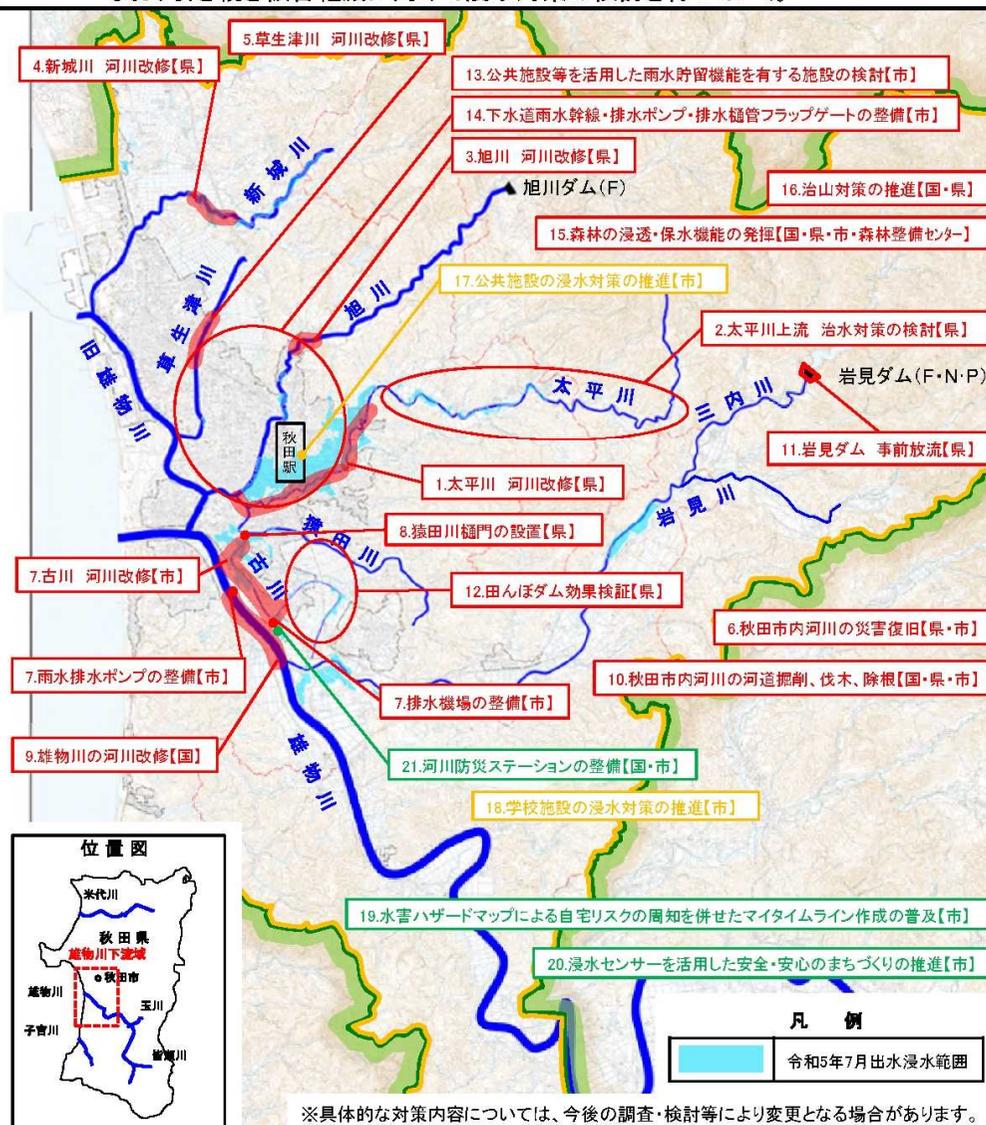
# 雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクトの策定（第1弾）

参考(R5.11.30公表版)

## 雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクト

～流域のあらゆる関係者が一体となった、安全で安心が確保できる治水対策の推進～

- 令和5年7月15日からの大雨により、太平川の越水をはじめ秋田市街地の大規模浸水被害が発生したことから、雄物川下流圏域では、国、県、市等が連携し、以下の対策を実施する。
  - ・ 国は雄物川の河川改修、県は太平川、岩見川等の河川改修、災害復旧の対策を集中的に実施するとともに、秋田市は下水道の整備や浸水対策の検討を行い、令和5年7月と同規模の大雨による浸水被害を大幅に軽減する。
  - ・ なお、引き続き被害軽減に向けて浸水対策の検討を行っていく。



■事業期間 令和5年度～令和14年度  
 ■事業費 約208億円【国:13.3億円、県:195億円】  
 ※このほか、事業採択になったものから、費用が確定した段階で、事業費に追加となります。  
 ■目 標 令和5年7月と同規模の大雨による浸水被害を大幅に軽減

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- 河川区域での対策
1. 太平川の河川改修【秋田県】
  2. 太平川上流 治水対策の検討【秋田県】
  3. 旭川の河川改修【秋田県】
  4. 新城川の河川改修【秋田県】
  5. 草生津川の河川改修【秋田県】
  6. 秋田市内河川の災害復旧【秋田県・秋田市】
  7. 古川の河川改修や排水機場等の整備【秋田市】
  8. 猿田川樋門の設置【秋田県】
  9. 雄物川の河川改修【国交省】
  10. 秋田市内河川の河道掘削、伐木、除根【国交省・秋田県・秋田市】
  11. 岩見ダム事前放流【秋田県】
- 集水域での対策
12. 田んぼダムの効果検証【秋田県】
  13. 公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設の検討【秋田市】
  14. 下水道施設の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備【秋田市】
  15. 森林の浸透、保水機能の発揮【林野庁・秋田県・秋田市・森林整備センター】
  16. 治山対策の推進【林野庁・秋田県】

- 被害対象を減少させるための対策**
- 氾濫域での対策
17. 公共施設の浸水対策の推進（エレベーター施設等）【秋田市】
  18. 学校施設の浸水対策の推進（受変電施設、空調室外機等）【秋田市】

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- 氾濫域での対策
19. 水害ハザードマップによる自宅リスクの周知を併せたマイタイムライン作成の普及【秋田市】
  20. 浸水センサーを活用した安全・安心のまちづくりの推進【秋田市】
  21. 秋田地区河川防災ステーションの整備【国交省、秋田市】

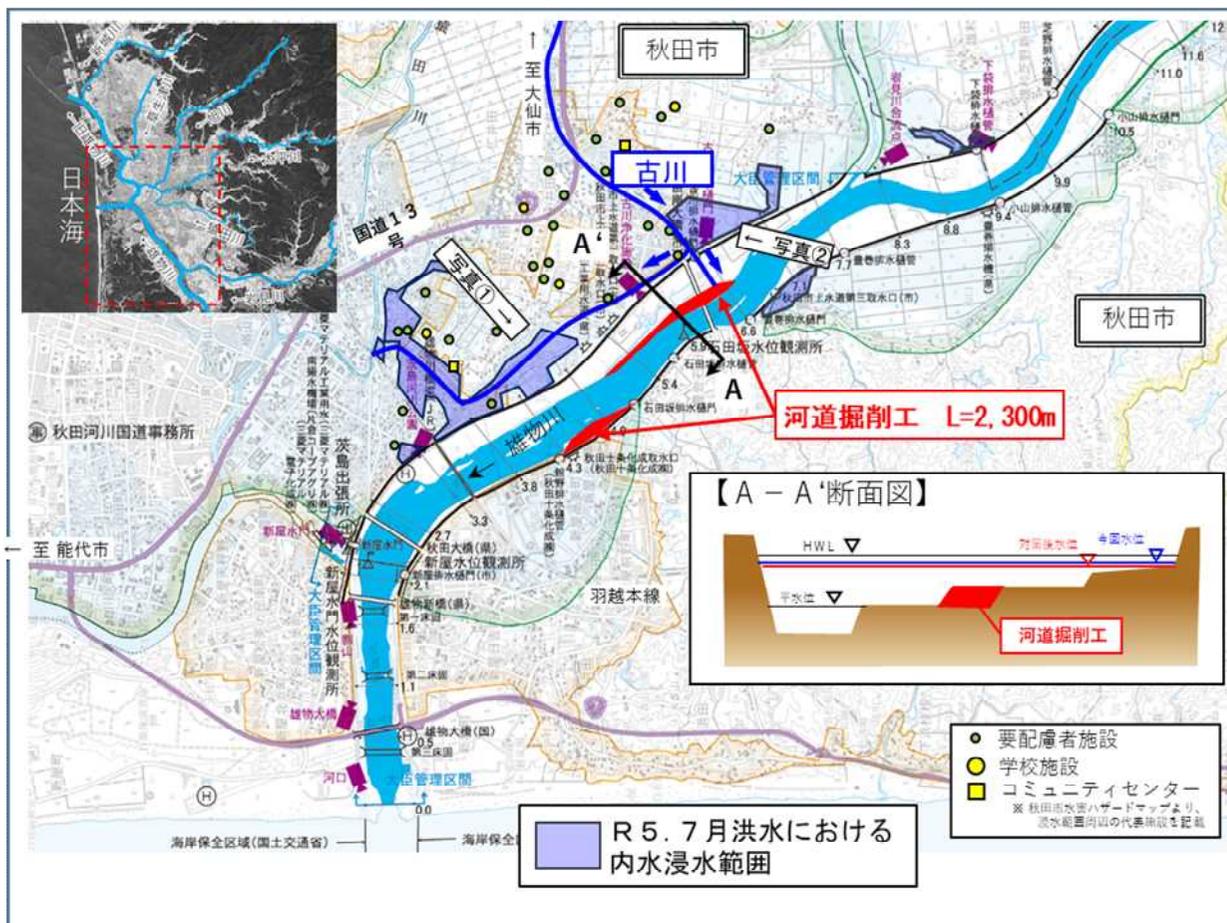


## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雄物川下流圏域  
水災害対策プロジェクト

### 9. 雄物川の河川改修 【国土交通省】

- ・延長2.3km（秋田南大橋下流付近）において、川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させます。なお、掘り出された土砂は周辺の事業で有効活用する予定です。



- 事業内容：河道掘削
- 事業期間：令和5年度
- 事業費：13.3億円  
(防災・減災対策等強化事業推進費)
- 施行地：秋田市仁井田ほか



具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

# 雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクトの策定（第1弾）

参考(R5.11.30公表版)

## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雄物川下流圏域  
水災害対策プロジェクト

### 1. 太平川の河川改修① 【秋田県】

- ・延長4.6km（旭川合流点～桜大橋付近）において、川の中の土砂を除去して洪水時の水位を低下させます。また、掘削後の法面保護のため、護岸を設置します。

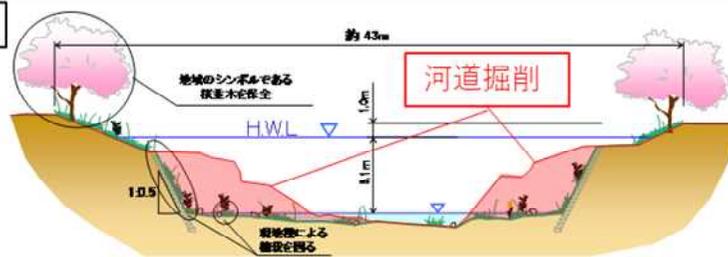
[治水安全度] 現況：1/10 ⇒ 整備後：1/20



- 事業内容：河道掘削、護岸等
- 事業期間：令和5年度～令和10年度
- 事業費：195億円  
(河川激甚災害対策特別緊急事業)
- 施行地：秋田市榎山ほか



太平川整備計画断面図



具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。



## 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

雄物川下流圏域  
水災害対策プロジェクト

### 20. 浸水センサー等を活用した安全・安心のまちづくりの推進 【秋田市】

・地区住民の安全・安心な生活を確保するために、道路冠水と河川氾濫状況の見える化を図り、住民に対して注意喚起や現況を的確に伝達するとともに、通行止めなど市の迅速な現地対応に繋げる有効な手段を構築し、防災・減災意識を向上させる。

- 事業内容：センサー、警報ランプ、サイレン、ネットワークカメラ、通信ユニット、量水標
- 事業期間：令和3年度～令和7年度
- 施行地：秋田市大住ほか



設置計画

区分	冠水常襲地区	地下道
令和4年度	楢山地区	八幡田地下道ほか
令和5年度	牛島地区	菅野地下道ほか
令和6年度	上北手地区	外旭川神田地下道ほか
令和7年度	広面地区	

具体的な対策内容については、今後の調査・検討により変更となる場合があります。

# 太平洋川内水被害等軽減対策計画の策定

雄物川下流圏域  
水災害対策プロジェクト

## 太平洋川 内水被害等軽減対策計画

### 【計画の概要】

#### ○内水被害軽減の基本方針

浸水被害の危険性が高い地域を集中的に整備  
緊急整備により、迅速に浸水被害を軽減

#### ○対象期間

令和6年度～令和14年度

#### ○全体計画額

約 428億円※(県:約360億、市:約68億)

#### ○特定都市河川に向けた見込み

令和6年3月ロードマップ公表。ロードマップに基づき、特定都市河川指定に向けた検討を実施予定

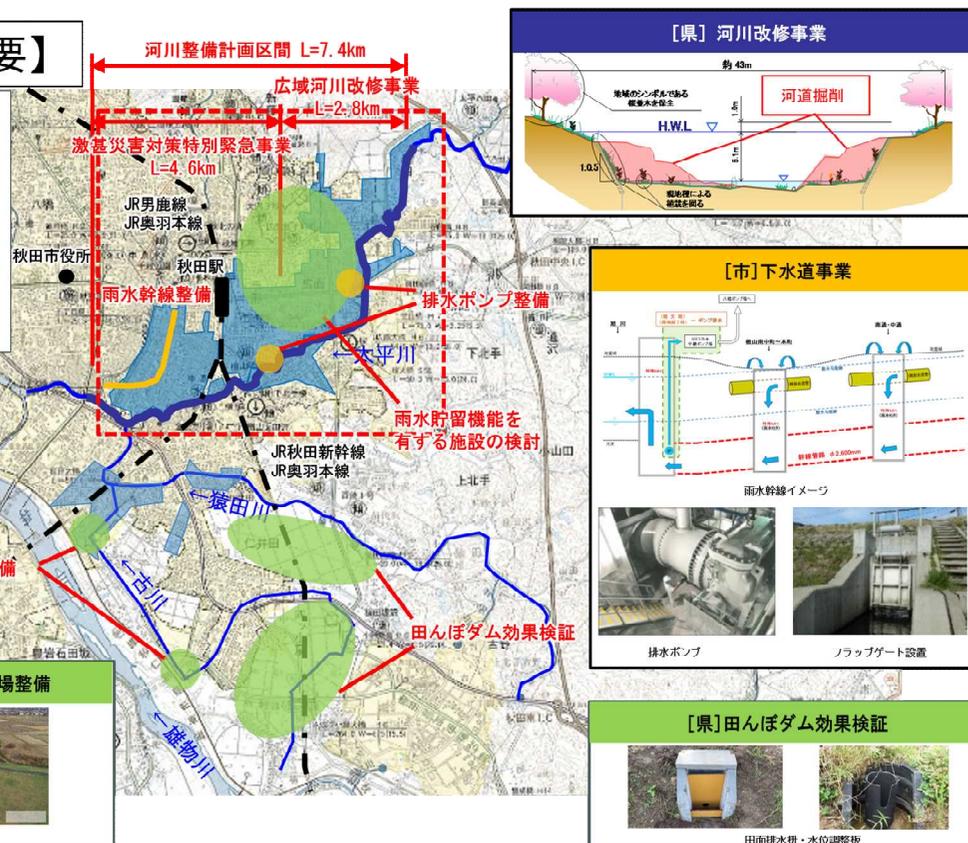
※全体計画額については、今後変更となる可能性があります

### 位置図



### 【取組の概要】

- 凡例
- 河川対策
  - 下水道対策
  - 流域対策
  - 浸水範囲
- (R5.7月大雨)  
内水被害軽減対策計画範囲



### 【主な取り組み内容】

- 河川対策 : 太平洋川の河川改修(県:約360億)
- 下水道対策 : 雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備(市:約66億)
- ソフト対策 : 内水浸水想定区域図作成(市:約2億)
- 流域対策 : ①特定都市河川の指定  
②田んぼダムの効果検証  
③公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設の検討  
④公共施設等の浸水対策の推進 など

### 【推進体制】

雄物川圏域流域治水協議会下流圏域分科会

### 【取り組みの効果】

令和5年7月と同規模の降雨に対して、概ね10年間で浸水面積の約8割を解消

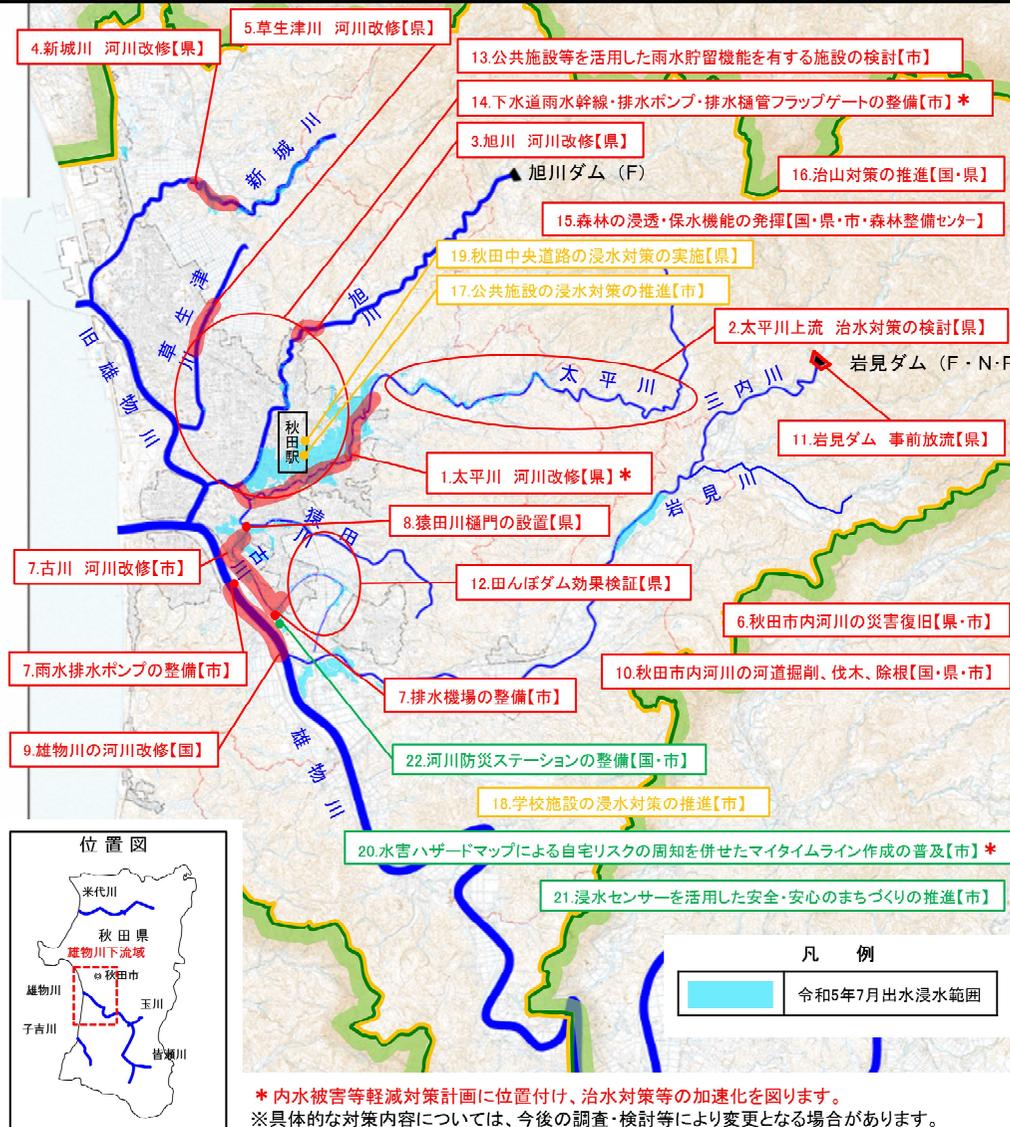
# 雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクトの策定（第2弾）

## 雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクト

R6.4.4更新

～流域のあらゆる関係者が一体となった、安全で安心が確保できる治水対策の推進～

- 令和5年7月15日からの大雨により、太平川の越水をはじめ秋田市街地の大規模浸水被害が発生したことから、雄物川下流圏域では、国、県、市等が連携し、以下の対策を実施する。
  - ・ 国は雄物川の河川改修、県は太平川、岩見川等の河川改修、災害復旧の対策を集中的に実施するとともに、秋田市は下水道の整備や浸水対策の検討を行い、令和5年7月と同規模の大雨による浸水被害を大幅に軽減する。
  - ・ これらの推進を図るため、内水被害等軽減対策計画（新規施策）に、太平川の河川改修や下水道施設の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備、ソフト対策等を位置付け、治水対策等の加速化を図るとともに、「流域治水」の深化に向けて、特定都市河川制度（特定都市河川の指定）を活用した取組を推進していく。
  - ・ なお、引き続き被害軽減に向けて浸水対策の検討を行っていく。



- 事業期間 令和5年度～令和14年度
  - 事業費 約639億円【国：約13億円、県：約417億円、市：約209億円】  
 ※このほか、費用が確定した段階で、事業費に追加になります  
 ※事業費については今後変更となる可能性があります
  - 目標 令和5年7月と同規模の大雨による浸水被害を大幅に軽減
- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河川区域での対策
1. 太平川の河川改修【秋田県】\*
  2. 太平川上流 治水対策の検討【秋田県】
  3. 旭川の河川改修【秋田県】
  4. 新城川の河川改修【秋田県】
  5. 草生津川の河川改修【秋田県】
  6. 秋田市内河川の災害復旧【秋田県・秋田市】
  7. 古川の河川改修や排水機場等の整備【秋田市】
  8. 猿田川樋門の設置【秋田県】
  9. 雄物川の河川改修【国交省】
  10. 秋田市内河川の河道掘削、伐木、除根【国交省・秋田県・秋田市】
  11. 岩見ダム事前放流【秋田県】
- 集水域での対策
12. 田んぼダムの効果検証【秋田県】
  13. 公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設の検討【秋田市】
  14. 下水道施設の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備【秋田市】\*
  15. 森林の浸透、保水機能の発揮【林野庁・秋田県・秋田市・森林整備センター】
  16. 治山対策の推進【林野庁・秋田県】
- 被害対象を減少させるための対策
- 氾濫域での対策
17. 公共施設の浸水対策の推進（エレベーター施設等）【秋田市】
  18. 学校施設の浸水対策の推進（受変電施設、空調室外機等）【秋田市】
  19. 秋田中央道路の浸水対策の実施【秋田県】
- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 氾濫域での対策
20. 水害ハザードマップによる自宅リスクの周知を併せたマイタイムライン作成の普及【秋田市】\*
  21. 浸水センサーを活用した安全・安心のまちづくりの推進【秋田市】
  22. 秋田地区河川防災ステーションの整備【国交省、秋田市】



# 豪雨災害から1年 ～広報の取組① パネル展の開催～

- 令和5年7月秋田県内を襲った記録的大雨被害からまもなく一年となることから、雄物川流域治水協議会下流圏域分科会で関係機関が取り組んでいる治水対策をパネルで紹介
- 本展示を通じて災害の記憶を忘れずに流域治水の理解と自分事として命を守る行動につなげてもらうことを目的に開催

6月6日(木)リリース 【取材申込】 ABS秋田放送 / AKT秋田テレビ

- 〈場所〉 秋田駅東西連絡自由通路【ぽぽろーど】
- 〈期間〉 6月10日(月)～14日(金) 5日間
- 〈主催〉 雄物川流域治水協議会下流圏域分科会
- 〈内容〉 「大雨と被害の状況」「水災害対策プロジェクトの取り組み」「内水浸水想定区域図」

パネル展は秋田駅を利用する多くの方々にご覧頂いた！



[マスコミ取材] ～ パネルをご覧になった方のコメント ～

- ・去年は大変だったからまた大雨にならない方が良い
- ・もうすぐ梅雨の季節なるから早めに対策をすすめてほしい
- ・これから去年みたいな時期になるかと気にしている
- ・去年は浸水がひどかったので心配です
- ・車は避難させたいと思っているが具体には決まっていないので早く備えたい

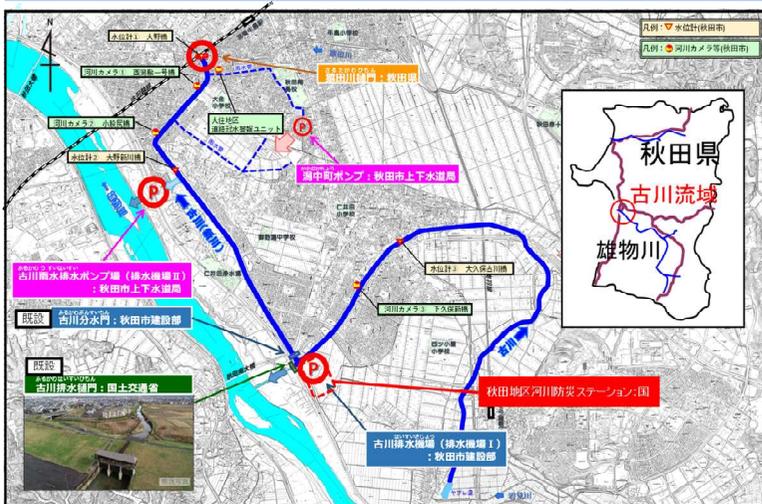
# 豪雨災害から1年 ～広報の取組② 治水事業着工式～

■古川流域では、頻発する浸水被害に対し、秋田県、秋田市、国が『古川流域の総合的な治水対策協議会』を設置し、関係機関が連携し一体となった古川流域の流域治水対策を推進している。

■今般、関係機関の主要事業の着工にあたり、令和6年6月16日(日)に着工式を開催。

6月7日(金)リリース 【取材申込】 ABS秋田放送 / AKT秋田テレビ / AAB秋田朝日放送 / (株)News Bank  
秋田魁新報社 / 読売新聞社 / 建設新聞社 / 秋田建設工業新聞社

古川流域の治水対策事業概要



＜祝辞＞  
衆議院議員  
富樫 博之



＜挨拶＞  
秋田県知事  
佐竹 敬久



＜挨拶＞  
秋田市長  
穂積 志



＜挨拶＞  
東北地方整備局長  
山本 巧



＜期待の言葉＞  
仁井田地区振興会長  
相場 隆



▲仁井田伝統芸能保存会による演舞



▲鍬入れの様子

# 豪雨災害から1年 ～広報の取組③ 浸水センサ実証実験～

- 浸水の危険性がある地域に浸水センサーを設置しリアルタイムで状況把握できる実証実験を実施
- 秋田市では昨年7月の記録的な大雨による浸水被害を契機に今年度より実証実験に参加
- 実証実験は秋田市と連携して取り組んでおり国が機器購入して秋田市が設置して運用

6月24日(月)リリース 秋田市と連名発表

【取材申込】 ABS秋田放送 / AKT秋田テレビ / AAB秋田朝日放送 / 読売新聞社

## ○設置概要

- ・R5. 7大雨による浸水被害のあった八橋、手形、広面、下新城、横森、仁井田、茨島の各地区に計20箇所設置
- ・設置、運用開始時期(6月末設置、7月上旬運用開始)



▲ワンコイン浸水センサ取付状況

## ○現地取材の実施(広面樋口地区)

- ・機器・設置状況と活用等について現地で取材対応



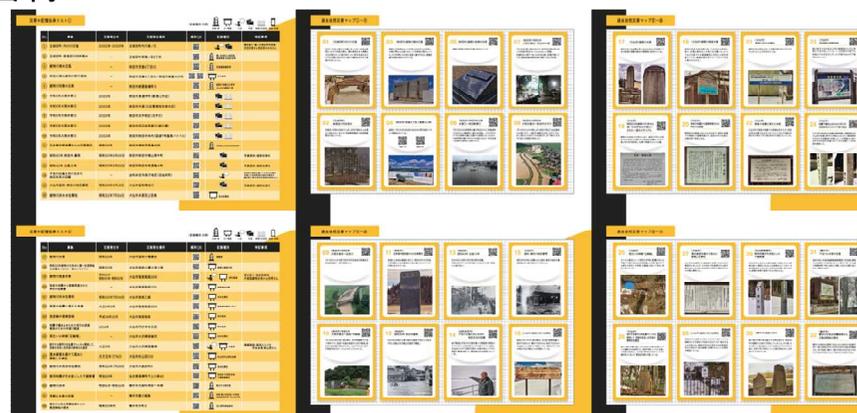
# 豪雨災害から1年 ～広報の取組④ 災害の記憶伝承～

- 自然災害を住民の皆様が自分事として捉えて頂くことを目標に『あきた災害の記憶伝承』リーフレットを作成
- 繰り返す自然災害への備えを教訓として後世に遺すため「県内で繰り返されてきた災害」「地域に伝わる言い伝え」「身近にある石碑」などの情報を『あきた災害の記憶伝承』としてとりまとめ
- 『あきた災害の記憶伝承』は災害リスクを自分事として捉え自分が住んでいる地域のリスクを把握して命を守る行動につなげてもらうことを期待して防災教育や伝承活動等へ活用

7月3日(水) リリース 【取材申込】 秋田魁新報社 / AAB秋田朝日放送 / 毎日新聞社

○リーフレットの作成、配布〔3,000部〕

- ・関係各施設へ配布【秋田河国、秋田県、災害情報が記載している市町村、道の駅、観光協会、教育施設 等】
  - ・出前講座、総合学習教育、観光案内による周知【小中学生、自治会、自主防災組織 等】
- 本リーフレットを活用した防災教育、伝承活動により防災知識を習得



▲「あきた災害の記憶伝承」リーフレット

○取材対応(地元紙:秋田魁新報)



▲取材対応状況